

2021年6月25日

私立大学図書館協会
加盟校図書館長 殿

私立大学図書館協会会長校
西南学院大学図書館
館長 古田 雅憲
(公印省略)

大学設置基準改正タスクフォースの審議結果公開について

平素より私立大学図書館協会の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く申し上げます。

さて昨年度末（2021年1月）、アンケート調査等を通じてご相談いたしました「大学設置基準の改正」事案につきまして、その後の協議等の結果報告が、国公立大学図書館協力委員会（委員長館：慶應義塾大学）から示されました（2021年6月11日付）。

つきましては、関係資料等を私立大学図書館協会 HP に公開（パスワード付）いたします。

公開期間：2021年6月25日（金）～ 7月9日（金）17:00まで

URL : <https://www.jaspul.org/ind/pw/taskforce.html>

なおこの間の経緯及び今後の取り扱いについて、この機会に改めましてご報告いたします。

1. これまでの経緯

- (1) 2020年11月30日に開催された第89回国公立大学図書館協力委員会において、大学設置基準改正のうち、図書館に関わる条項について協議された際、国立大学図書館協会から改正案（以下「国大図協案」という。）が示され、国公立大学図書館協力委員会案としたい旨の提案がなされた。諸条件が違う公立・私立大学の委員館から懸念が示された結果、協会委員会内に限らず広く意見を集めたうえで、改めて国公立案をまとめるべきとの結論に達した。具体的には、国公立大学図書館協力委員会のもとに「大学設置基準改正タスクフォース（仮称）」を設置して、私立大学図書館協会（以下「本会」という）を含む各協（議）会から意見聴取したうえで、審議を進めることになった。
- (2) 2020年12月17日付で、国公立大学図書館協力委員会から、各図書館協会会長宛に、「大学設置基準改正タスクフォース（仮称）」構成員選出と改正修正案の作成について、依頼が出された。

- (3) 依頼を受けて、2020年12月22日の臨時常任幹事会において、本会から選出する「大学設置基準改正タスクフォース（仮称）」（以下「タスクフォース」という。）の構成員について協議し、國學院大學(2020年度会長校)と西南学院大学(2021年度会長校)から選出することとなった。加盟館の意見をアンケート方式で聴取したうえで、本会としての見解をまとめることとし、その時点での3月末までのスケジュールを確認した。
- (4) 2021年1月12日に、加盟館に対して新たな大学設置基準に向けた改正案作成にあたっての意見聴取アンケートを依頼するとともに、選出するタスクフォースの構成員については常任幹事会への一任をお認めいただいた。
- (5) 2021年1月29日～2月12日の常任幹事会（臨時：メール会議）において、加盟館から提出されたアンケート結果について協議した。その結果、「短い期間で大学の規模や図書館施設等が違う加盟館の意見を集約して、本会としての見解をまとめるために十分な検討ができないため、アンケート結果や大学の規模等と関連づけながら、事例や意見を提示する」旨の方向性が了承された。2021年3月5日の東西合同役員会においても、本会としての大学設置基準改正の考え方について了承された。（公開資料の参考7を参照のこと）
- (6) 2021年3月18日と4月9日の2回にわたり、国公立大学図書館協力委員会のもとでタスクフォースが開催された。（公開資料の参考3を参照のこと）
- (7) タスクフォースによる2回（2021年3月18日、4月9日）の審議を踏まえ、大学設置基準の改正に係る「国公立大学図書館協力委員会試案」がとりまとめられ、4月21日付で、国公立大学図書館協力委員会委員長館（慶應義塾大学）から文部科学省研究振興局に送付された。

2. 今後の取り扱い

4月9日のタスクフォースの席上にて、今後の取り扱いについてオブザーバーとして出席されていた文部科学省研究振興局に質問したところ、担当部局での審議となるため、今後の検討スケジュール等は未定であるとの回答があった。今後、文部科学省から意見や見解を求められた場合には、国公立大学図書館協力委員会の委員長館が窓口となり、必要に応じて、同協力委員会の常任幹事館にて議論される予定である。

以上